

## なかよしまつり パート ～農園での活動をまつりにしよう～

### 授業のポイント

#### 表現工夫

まつりのイメージをさらに広げ、自分たちの農園での楽しかった活動をいろいろな人に伝えたいという思いをもって、表現の工夫ができるように支援してきた。クイズ、紙芝居の言語による表現や遊びの工夫を通して、絵や工作などの造形による表現など、子どもたちの考えを大切に工夫させていきたい。

#### 自分の考えを伝え合う子どもの姿

自分の考えを友だちに伝えながら活動できるように、一人ひとりが自分ごととして活動をとらえ、友だちとかかわりながら活動をすすめていけるように支援していきたい。

#### 評価と支援

振り返りカードなどを通して、個々の見とりを大切にし、評価と支援を行ってきた。座席表をもとにグループや個々への支援はどうできるか、取り組んでいきたい。

### 授業改善に向けての考察

#### 自分の考えを伝え合う子どもの姿

自分の考えや思いを友だちに伝えながら活動できるよう、「表現・伝える」を大事に活動を進めてきた。

クイズや紙芝居などグループで分かれて活動していたため、

毎時間子どもたちの活動がわかるようカードでのふりかえりをし、個々の見とりを大切にした。

授業後に子どもの様子や、次の活動について確認をし、評価と支援を行ってきた。

子どもたちは「1回目のおまつりより、もっと楽しいおまつりにしたい」という思いをもって活動していたので、友だちに自分の考えをしっかりと伝えながら活動できていた。また、教師側も子どもの思いを知ることによって、活動がスムーズに進むよう支援することができた。

今回の活動を通して、

自分の考えを友だちに伝えたり、友だちの考えを受け入れて、まつりの内容やお店の内容を考えようとしている姿が多く見られた。

#### 友だちのよさを認め合う

自分の考えを伝え、友だちと協力して自分たちのお店の工夫をしようとしている姿が多く見られた。また、友だちの考えや表現の工夫について気づいている子どもの姿も見られた。しかし、友だちの考えや表現の工夫について気づいている子は少ない。様々な活動の中で、友だちのよさに気づいたり、よさを認め合ったりできるよう支援していきたい。

そのためにも、

子ども一人ひとりの様子をしっかりと捉え、まず、教師がよさを認めることを大事にしたい。活動のなかで互いを認め合う場面を多く作っていきたい。

と考える。